

指定管理者評価票（令和2年度分）

全般的事項

施設名称：瑞穂町福祉作業所「さくら」
 担当部課係：福祉部 福祉課 障がい者支援係

1 指定管理者の名称	社会福祉法人 あかつきコロニー
2 指定管理の期間	令和2年4月1日から令和7年3月31日まで 5年間
3 指定管理の目的及び求める効果	一般企業での就労が困難な在宅の身体・知的障がい者の方に就労の場を提供し、自立や社会参加を支援することを目的とする。
4 指定管理の業務内容	1 福祉作業所の運営に関すること。 2 施設及び設備の維持管理に関すること。
5 施設の概要	<p>身体・知的障がい者に対し、必要な指導及び訓練を行ない、社会参加及び自立並びに社会経済活動への参加の促進を図るサービスを提供する。</p> <p>(2)規模 敷地面積 1,167.15 m² 建築面積 339.10 m² 構造 木造平屋建て</p> <p>(3)設備内容 作業室・事務室・休憩室・シャワー室・トイレ・更衣室・玄関・給湯室・物入・脱衣室・相談室・静養室・だれでもトイレ ホール・倉庫・面談室</p> <p>(4)設置年月及び経過年数（導入時） 平成22年1月 （導入後11年経過）</p> <p>(5)建設費用 77,490,000 円</p> <p>(6)大規模改修の経緯と費用 該当なし</p> <p>(7)維持補修・改修の予定及び時期 特になし</p>
6 指定管理における具体的な目標	
(1)利用者へのサービス水準の向上目標	利用者の状態や障害特性に特化したプログラムの設定を行なうことにより、作業能力の向上を図ることを目的としている。また、生活全般への支援も行き、社会生活能力の向上に努める。
(2)運営の効率化に関する目標	運営委員会を定期的開催し、運営方法等について検討を行い、効率化を図る。
(3)施設維持管理費に関する削減目標	事業計画及び予算に基づき、適切な管理を行い、管理費の削減に努める。
(4)その他の目標	地域交流事業を通して、施設の事業および障がい者への理解の向上を目指す。
7 モニタリング（利用者の意見把握）の内容	個別性を考慮した支援プログラムの導入について、問題行動の減少、作業への意欲向上、生活内容の改善等が図られたという意見が得られている。

指定管理評価票（令和2年度分） 個別項目・総括

施設の名称： 瑞穂町福祉作業所「さくら」
 担当部課係： 福祉部 福祉課 障がい者支援係

業務評価指標		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6
協定書・仕様書で示した事項	生活指導、作業訓練等の社会適応訓練に関する業務	適正に実施	適正に実施				
	施設、整備等の維持管理	適正に実施	適正に実施				
開館日数等 (条例で示した施設目的の達成度)	条例で示した開館日数	243	243				日
	実開館日数	243	243				日
維持管理状態	受付対応人員（常駐）	1	1				
	日常清掃	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施	職員及び通所者が床・窓清掃等を実施				
職員数の確保及び適切な配置		管理者1名、サービス管理責任者1名ほか利用者7.5人に対して常勤職員1名以上を配置	管理者1名、サービス管理責任者1名ほか利用者7.5人に対して常勤職員1名以上を配置				

インプット指標（行政資源（歳出・人・物）の投入量）		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料（委託料）		8,121,000	8,721,000				円
指定前の管理経費（町支出以外）または指定管理料以外の支出金額		0	0				円
職員の投入実態		105,000	105,000				時間*人/週
物品の提供実態		0	0				円
インプット指標合計		8,226,000	8,826,000				
提供物品の名称と数量：		0	0				

アウトプット指標（事業の活動量、活動実績）		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6
施設延べ利用者数		6,558	6,773				人/年間
実利用者内訳（町内外利用者別）	町内在住者	30	30				人/年間
	町外在住者	0	0				人/年間
施設稼働率 (施設稼働日数及び貸出日数)	貸出日数	250	240				日/年
	稼働日数	247	240				日/年
	稼働率	99%	100%				
利用料収入		52,185,543	53,412,734				円
その他収入	事務所家賃 *1	0	0				円
	事務所光熱水費 *1	0	0				円
	その他収入	215	164,272				円
	計	215	164,272				円

※1 指定管理者が管理の範囲を超えて事務所を使用する場合の室料、光熱費等を計上する。

業務収支

収入の部		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	
指定前の管理経費（町支出）または指定管理料		8,121,000	8,721,000					円
指定前の管理経費（町支出以外）または公的援助		105,000	105,000					円
利用料収入		52,185,543	53,412,734					円
その他収入		215	164,272					円
収入の部 合計	算定	60,411,758	62,403,006					円
	実収入	60,306,758	62,298,006					円

支出の部		前指定末 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	
人件費		36,830,557	40,460,953					円
事務費		3,160,864	4,049,713					円
事業費		6,241,461	5,534,797					円
その他		4,000,000	3,000,000					円
就労支援事業支出		6,592,079	6,238,083					円
支出の部 合計		56,824,961	59,283,546					円

収支差引	算定	3,586,797	3,119,460					円
	実収支	3,481,797	3,014,460					円

指定管理者自己評価 ※平成24年度分より追加

コスト削減に対する取組み	前指定末 (R1)	室内の温度設定は、空調の温度計を注視しながら適切な設定を実施した。電気は、間引き照明と未使用の部屋はこまめに消す等を、FAXはサーバー管理を行い、不要と思われる物は出力しない等のコスト削減を心がけた。なお、管理者が消耗品の在庫管理を徹底する事でコストの削減を行っている。
	R2	消耗品は在庫の見える化を図っており、購入時は管理者の承認を得ることでコスト削減を行っている。空調の温度管理及び間引き照明をこまめに行っている。FAXはサーバー管理となっており管理者が必要な情報のみ出力する事で用紙やトナーのコスト削減に繋げている。
	R3	
	R4	
	R5	
	R6	

アウトカム指標（施設・事業がもたらす効用等）

利用者の利便性改善	前指定定末 (R1)	個々の適正とニーズに応じた支援計画を作成し、より良い支援の提供に努めている。作業室は利用者の動線を意識した安全な配置を行い整理整頓に努めている。また、男女更衣室にいつでも誰でもゆっくり休憩出来るようにソファを設置している。イベント等の集団行動のため、施設名の入ったジャンパーを提供している。	
	R2	利用者の導線を意識した安全な配置を行い整理整頓に努めた。アクリル板を設置しソーシャルディスタンスの確保を行った。利用者の体調不良時の対策として新たに折畳みベッドを2台常備し使用後は消毒や天日干しをこまめに行った。	
	R3		
	R4		
	R5		
	R6		
プログラム等質の改善	前指定定末 (R1)	作業の見直しと整理を行い、個々の障がい特性に合わせた作業の提供を行った。皮細工の自主製品の制作を開始し、福祉まつりや産業まつりで販売を行うことが出来た。利用者主体の利用者会議では、利用者の意見を反映しながら行事等の内容を決定した。	
	R2	第1回緊急事態宣言発令後に4月15日から6月30日まで課題を設定した在宅支援を行いサービスの縮小を図った。尚、行事の全てが中止となった為、施設内にてお楽しみ会を3回、創作活動3回を行った。	
	R3		
	R4		
	R5		
	R6		
利用者の満足度 (アンケート等客観的のもの)	前指定定末 (R1)	年2回の保護者会、年1回の個別面談を行い、施設への要望や加齢による日常生活動作の状況確認等の聞き取りを行っている。また、開設10周年という事で、施設運営に活かすべくアンケート調査を利用者に行い、約5割の利用者から満足という回答を得ている。令和2年度第三者評価実施予定。	
	R2	利用者会議（テーマは挨拶やルール及び人間関係）を年2回行い、意見や要望は利用者支援に反映させた。本年度は第三者評価を実施し利用者アンケートを行った結果、満足67%、不満はない14%という回答を得た。	
	R3		
	R4		
	R5		
	R6		
安全管理等 ※平成24年度より追加	前指定定末 (R1)	事故・苦情対応	迅速に対応する体制をとっている。
		事故防止策	リスクマネジメント会議を毎月実施
		避難訓練等	地震避難訓練年4回、町主催防犯講習会参加
	R2	事故・苦情対応	虐待防止対策の実施。迅速に対応する体制をとっている。
		事故防止策	施設内柵耐震補強、リスクマネジメント会議、防犯カメラの定期確認。
		避難訓練等	地震避難訓練年1回、火災避難訓練1回。消防署参加の3月の合同訓練中止。
	R3	事故・苦情対応	
		事故防止策	
		避難訓練等	
	R4	事故・苦情対応	
		事故防止策	
		避難訓練等	
	R5	事故・苦情対応	
		事故防止策	
		避難訓練等	
	R6	事故・苦情対応	
		事故防止策	
		避難訓練等	

その他

前指定末 (R1) R2 R3 R4 R5 R6

建設経費（元利返還費用）	建設費	77,490,000	77,490,000					円	
	償還利息	0	0					円	
利用者1人あたりの経費 （指定管理料等及び指定管理料等+建設経費）	利用者数	6,558	6,773					人/年間	
	管理経費または指定管理料等	8,226,000	8,826,000					円	
	管理経費または指定管理料等/人	1,254	1,303					円/人	
	（管理経費または指定管理料+建設費）/人	13,070	12,744					円/人	
修繕費 （協定に基づく指定管理者負担上限額：20万円/年） ※H29年度分より項目追加	指定管理者が行った修繕	件数	3	3				件	
		金額	402,840	385,550				円	
		内容	レーザー加工機基盤交換、作業場水栓、トイレ排水修繕	空調機器修理、消防設備器具電気交換、消火器交換、建具・内装工事					
	町が行った修繕	件数	0	0					件
		金額	0	0					円
		内容	0	0					
立ち入り検査状況									
遵法検査 ・法で定められている場合、回数を記載。 ・それ以外の場合、法定外と記載。また、施設独自で同様の検査・指導を受けている場合は、その旨を記載。	自動ドア（法定外）	2	2						
	消防法設備点検（法定年2回）	2	2						
	冷暖房設備（法定1回）	2	2						

総括

R2 R3 R4 R5 R6

経費比較 （指定前と指定後） ※行政資源（指定管理料等・町職員人件費・物品提供金額）の投入実態を比較「実経費」では指定管理料等のみを比較	算定	指定後	8,826,000					円
		前指定末 (R1)	8,226,000					円
		比較	600,000					円
	実経費	指定後	8,721,000					円
		前指定末 (R1)	8,121,000					円
		比較	600,000					円
評価	令和2年度（1年度目）							
1次評価 担当課	法人共通及び事業所毎に、利用者支援、リスク対策、権利擁護などの各種マニュアルを作成し、業務の標準化、サービスの質の向上に積極的に取り組んでいるほか、地域に根差した事業も展開し、町の負託に応える運営に努めている。新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、事業所内でのクラスター発生もなく、緊急事態宣言中も柔軟な対応により支援を継続した。利用者支援においては、保護者会や個別面談で利用者の状態把握を行うなど、利用者一人ひとりの意向に丁寧に向き合った支援を行っている。							
2次評価 指定管理者選定委員会	0							

評価	令和3年度（2年度目）
1次評価 担当課	
2次評価 指定管理者選定委員会	
評価	令和4年度（3年度目）
1次評価 担当課	
2次評価 指定管理者選定委員会	
評価	令和5年度（4年度目）
1次評価 担当課	
2次評価 指定管理者選定委員会	
評価	令和6年度（5年度目）
1次評価 担当課	
2次評価 指定管理者選定委員会	